

体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

岐阜県防災キャンプ事業

岐阜県教育委員会

【事業のポイント】

- 学校を舞台に、児童生徒、教職員、地域住民が協同で事業を推進すること。
- 中山間部、平野部、都市部といった地域の特徴に応じた事業であること。
- 自衛隊、防災士会など専門家と交流することで防災に対する深い理解を得られること。



第一中学校区防災宿泊研修【中津川市】
DIG（災害図上訓練）のようす

1. 企画

(1) 事業実施の背景

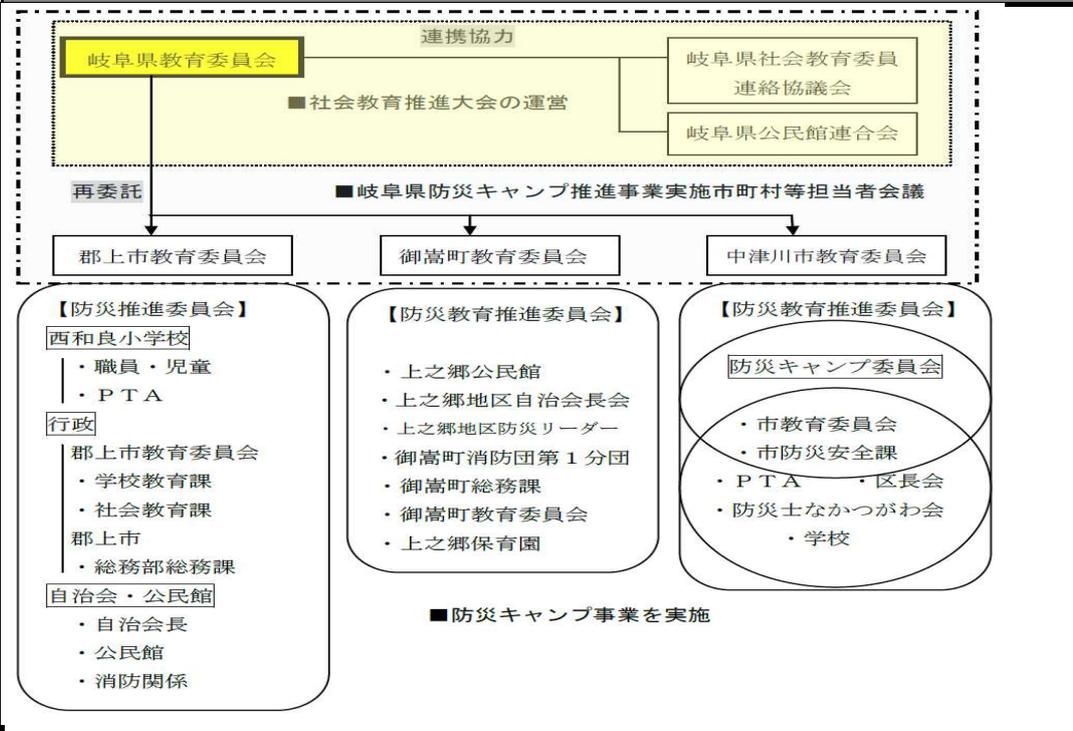
東日本大震災等を契機として、防災に関する意識が高まる中、県内各地において、県内の各地域で想定される災害や被災時の対応を疑似体験するための事業が求められた。とくに、被災時に避難のための拠点となる学校や公民館での体験活動に対し、関心が高まった。

(2) わらい

学校や公民館を舞台に、学校や地域社会、関係機関・団体等が協力して、青少年に防災キャンプの機会を提供し、体験を通して地域社会の一員としての自覚を育てるとともに、防災の大切さを実感させる。また、防災キャンプの実践を学校教育・社会教育関係者に広く周知することを通して、防災教育を推進するとともに、地域の防災活動の充実を図る。

2. 事業概要

(1) 運営体制



(2)開催実績	
月 日	内 容
6/29(日)	西和良ちごのねキャンプ【郡上市】 1日目
6/30(月)	西和良ちごのねキャンプ【郡上市】 2日目
9/9(火)	防災キャンプ in かみのごう減災教室【御嵩町】
10/1(水)	中津川第一中学校区防災キャンプ【中津川市】 1日目
10/2(木)	中津川第一中学校区防災キャンプ【中津川市】 2日目
10/2(木)	岐阜県社会教育推進大会
10/24(金)	防災キャンプ in かみのごう【御嵩町】 1日目
10/25(土)	防災キャンプ in かみのごう【御嵩町】 2日目
11/30(日)	中津川防災体験フェスティバル【中津川市】

3. 防災キャンプ実施概要

① 山間部(小規模校)の防災キャンプ【郡上市】

【活動名】ちごのねキャンプ(西和良小学校防災キャンプ)
【実施日】平成26年6月29日(日)～平成26年6月30日(月)
【実施場所】郡上市立西和良小学校(岐阜県郡上市八幡町美山2525)
【参加範囲】西和良小学校全児童及びその保護者と地域住民
【参加人数】184人(西和良小学校児童10名・保護者8名・地域住民166名)

【プログラム概要】

(1)児童プログラム

- ～1日目～
- ・避難所設営訓練
 - ・防災サバイバル(火おこし体験、濾過機づくり、灯籠づくりなど)
 - ・救急救命講習
 - ・煙体験
 - ・消火訓練
- ～2日目～
- ・命を守る訓練
 - ・防災教室



火事の煙の怖さがわかる煙体験



子どもたちと地域住民が協力して作った西和良校区安全マップ

(2)地域住民プログラム ～1日目に児童とともに～

- ・避難訓練
- ・AED訓練
- ・仮設トイレ設置・展示
- ・煙体験
- ・消火器訓練
- ・非常食体験

② 平野部(小規模校)の防災キャンプ【御嵩町】

【活動名】防災キャンプ in かみのごう
【実施日】平成26年9月9日(金)、10月24日(金)～平成26年10月25日(土)
【実施場所】御嵩町立上之郷小学校(可児郡御嵩町宿2002)
【参加範囲】上之郷小学校全学年児童及びその保護者と地域住民(4学年児童のみ宿泊体験)
【参加人数】250名(上之郷小学校全学年児童85名・保護者50名・地域住民115名)

【プログラム概要】

(1)9月9日「防災キャンプに向けて」

- ・シェイクアウト避難訓練
- ・講話(講師:三上卓・徳島大学環境防災研究センター特任准教授)
- ・地震体験車での地震体験
- ・非常用防寒具の作成



防災運動会 地域の方々とバケツリレーの速さを競う

(2)防災キャンプ

- ～1日目～
- ・シェイクアウト避難訓練
 - ・防災授業
 - ・防災運動会(バケツリレー、防災クイズラリー)
 - ・自衛隊との体験学習(天幕設営、防災講話)
- ～2日目～
- ・自衛隊との体験学習
(自衛隊の装備品(災害派遣車両)展示見学、人命救助セット体験)



自衛隊(35普通科連隊)との体験学習

③ 都市部(中規模校)の防災キャンプ【中津川市】

【活動名】第一中学校区防災宿泊研修

【実施日】平成26年10月1日(水)～平成26年10月2日(木)

【実施場所】中津川市立第一中学校(中津川市駒場1606-3)

【参加範囲】第一中学校1学年及びその保護者と地域住民

※協力団体:中津川消防署、中津川防災士(防人会)

【参加人数】206人(第一中学校1年生88人・教員12人、保護者88人、地域住民62人)

【プログラム概要】

(1)第一中学校区防災宿泊研修

～1日目～

- ・防災オリエンテーリング
- ・DIG(災害図上訓練)
- ・防災講演会(講師:河田のどか氏(NPO「さくらネット」))
- ・避難所設営体験
- ・アルミ缶ストーブつくり体験
- ・夜の学級会(停電体験)

～2日目～

- ・防災集団行動
(防火・防災クイズ、防災伝言リレー、バケツリレー等)
- ・校内防災施設見学会
(マンホールトイレ、防災倉庫、シャワールーム見学)

(2)みんなで楽しく学ぶ防災体験フェスティバル

(11月30日(日) 落合中学校で実施)

- ・水パック消火
- ・要支援者の支援体験
- ・避難所設営体験
- ・AED・心肺蘇生体験 等

体育館で就寝準備



アルミ缶ストーブの作成



※複数回実施した場合は、実施回数分枠を増やして記入してください。

4. 普及啓発の実施概要

(1)「岐阜県社会教育推進大会」の全体会で、防災キャンプに関する実践発表を行った。

【実施期日】平成26年10月2日(木)

【実施場所】瑞穂市総合センター(岐阜県瑞穂市別府1283)

【参加人数】514人

【参加対象】行政(教育委員会等)関係者、学校関係者、公民館関係者、社会教育団体関係者 等

(2)実施報告書の作製

趣 旨:防災キャンプの成果を普及するため、県内市町村教育委員会等に、実施報告書を送付するとともに、県HPに掲載し、防災の啓発に努める。

(<http://www.pref.gifu.lg.jp/kyoiku-bunka-sports/shakaikyoiku/bousai-camp.html>)



社会教育推進大会 発表のようす

5. 成果と課題

(1) 事業成果

- ・ 運営面で、学校、地域、行政の三者が協力して取り組めた。【郡上市】
- ・ 青少年への防災教育として、消防団の動き作りや非常食の準備など、地域が進んで防災教育に関わることができた。【郡上市】
- ・ 防災運動会や自衛隊との体験学習で全校児童の防災意識や防災知識が高めることができた。【御嵩町】
- ・ 自衛隊を招聘できたことで、地域住民も児童も公助について深く理解することができた。【御嵩町】
- ・ 地域住民と児童が共に活動することで、児童の知識の多さが地域住民の学習意欲の高まりにつながった。【御嵩町 事業関係者】
- ・ 近隣の交流を意識するよい機会となった。【御嵩町 参加者】
- ・ 第一中学校の設備が、災害時に避難所としての機能を持つこと。また、第一中学校の生徒が災害時に地域の防災リーダーとして活躍できることを地域にアピールできた。【中津川市】
- ・ 岐阜県の防災教育推進テーマである「自分の命は自分で守る」ことについて、生徒が自らの命を守るスキルアップができた。【中津川市】
- ・ 地域の防災関係者の指導の下で図上訓練(DIG)を実施し、その後地域の協力を得ながら、実際に地域を歩き、地域の防災倉庫や避難場所などの確認ができた。【中津川市】

(2) 事業運営上の課題・留意点

- ・ 「安否確認カードを毎年作成すること」、「各地区で防災組織を毎年確認すること」、「公助より自助・共助をより意識した地域づくり」の3つを大切にしていけることを確認した。【郡上市】
- ・ この防災キャンプを通して、助け合いの大切さや、組織的に災害に備える体制作りについて地域で取り組んでいくことが確認できた。さらに住みよい地域にするために連携を深めていきたい。【郡上市】
- ・ 毎年自衛隊が招聘できるとよいが、その確約が難しい。【御嵩町】
- ・ 来年度以降の防災キャンプのあり方や継続的な活動にするための仕組みを明確にする必要がある。【御嵩町】
- ・ 地域を巻き込んだ事業に発展させたいと試行錯誤するが、地域参加を平日実施することは難しく、逆に学年・学校規模の事業を休日に実施することも難しい。【中津川市】
- ・ 不自由が故の「防災キャンプ事業」であり、制限のある衣食住の体験であることが当然ではあるが、その実施内容の不自由さについて、アトピー、アレルギー、異性の配慮、精神的な不安を抱えた児童生徒の対応などで保護者の協力を得られるような体制づくりが必要である。【中津川市】

(3) その他

平成27年度は岐阜市、中津川市で防災キャンプを実施する予定である。

6. 団体プロフィール

岐阜県教育委員会

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

担当課：社会教育文化課

TEL:058-272-1111(内3575) FAX:058-278-2824